

令和7年度 湘南台高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚と意識を高め、信用失墜行為を未然に防止する。	○不祥事防止職員啓発・点検資料等を用いて定期的に職員に周知することで職員の意識の向上を図った。 ○職員間のコミュニケーション等を通して、日常的に意識啓発、注意喚起を行うことにより、法令順守の認識を深め、公務外非行等を防ぐことができた。
職場のハラスメントの防止	職場でハラスメントを未然に防止し、すべての職員が働きやすい職場の体制を構築する。	○不祥事防止啓発資料を使用して、職員の理解・促進を深めた結果、職員の当事者意識が向上した。 ○衛生委員会でハラスメントの実態や教職員の意識を確認し防止対策を検討した結果を職員会議で周知し、ハラスメントのない職場を目指した。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の禁止	生徒と人権を尊重し、職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について、当事者意識を持って取り組む。	○朝の打合せや職員会議等を利用し、定期的に具体の事例を取り上げ、問題となる行動を再認識させることで意識の向上を図った。 ○職員と生徒とのSNS等の利用禁止や私物端末の原則利用禁止などルールについて周知を徹底することで、生徒に対するセクハラ行為等を未然に防止できた。
体罰、不適切指導の防止	高い人権意識を持って、体罰や不適切指導を未然に防止する。	○人権研修会や事故不祥事防止会議等において、生徒の人権に配慮した指導について確認し、職員の人権感覚を高めることができた。 ○生徒が校内で相談しやすい環境を整えるとともにSCやSSWなどにつなげた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関連業務を適正に行い、事故防止に努める	○入学者選抜や成績処理及び調査書・推薦書の作成及び取扱いについては、マニュアルに基づいた業務を再検証し、より事故を防げるような点検体制の構築を行った。
個人情報等管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理及び情報セキュリティに対する意識を高め、個人情報の流出を未然に防止する。	○個人情報の取扱いについては職員に対してルールの徹底を図り、職員室内での保管について鍵のかかる場所などを利用する。また、個人情報の持ち出しは原則禁止にし、業務上必要な場合は申請書の提出をしてもらった。 ○定期テストでは答案返却までシュレッダーの使用は禁止し、誤廃棄防止を徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い・酒気帯び運転、酒気帯び運転の発生を未然に防止する。	○日頃より、自家用自動車の運転時の安全運転と事故防止、飲酒運転の禁止について、職員同士でも確認することを推奨し、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止した。
業務執行体制の適正執行	各グループや学年、教科において情報を共有しながら相互に点検、整備をおこない、働き方改革と事故防止につなげる。	○お互いに声を掛け合うなど、気になることをすぐに相談できる雰囲気づくりを進め、日頃より職員間での情報共有を図った。 ○協力体制を充実させ、相互のチェック機能により事故を未然防止と働き方改革につなげた。

財務事務等の適正執行	私費会計基準に沿って不適切会計処理を未然に防止する。	○事故不祥事防止会議等において、啓発資料などを用いた意識の啓発と私費会計基準の周知徹底を図った。 ○旅費及び諸手当の受給、学校における物品管理、現金等の取扱いなどについて、適切な管理を徹底し、不祥事の未然防止に努めた。
------------	----------------------------	--

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

(1) 令和7年度の達成状況について

- ア 毎月の職員会議後に、事故・不祥事防止会議を実施し、学校全体で継続的に意識啓発を行うことで不祥事防止に取り組む体制が作れた。今後も、さまざまな形態で効果的なプログラムを検討し、学校一丸となって事故・不祥事防止を進めていきたい。
- イ 入試選抜について、入学者選抜業務マニュアルに基づいた研修を充実させることで一人ひとりの業務に対する理解が深まり入試選抜業務が円滑に進められた。
- ウ 成績処理について、より効率よく事故がない形での流れを構築した。

(2) 令和8年度に取り組むべき課題について

- ア 校内研修会をさらに充実させ、職員の事故・不祥事防止に対する意識の向上を図り、何事においても自分事と捉えて、一人一人が当事者意識を持った事故防止体制を築く。
- イ 業務執行体制の見直しについて、各グループ業務の見直しを行うとともに、学校運営協議会からも意見を伺い、職員の働き方改革について、より実効性のある取り組みを実施する。
- ウ 入学者選抜業務にあたっては、職員各人が当事者意識を持って事故の未然防止体制の構築を図る。
- エ 私費会計処理において、教員の働き方改革の観点からも業務アシスタント等の人材活用一層の充実を図る。